

8

江戸時代



▲郡山宿錦絵（文久年間、安斎文子氏所蔵）

いいところに気が付いたね。そう、この絵は、江戸時代の様子を描いたものなんだ。当時の人々の様子が、この絵からよく分かるね。問題は、どこを描いた絵かということだね。実は絵の右下に、場所が書かれているよ。よく見てごらん……。そうなんだ!! この絵は、江戸時代の郡山の様子を描いた絵なんだよ!

これはとても古い絵だけど、見たことがあるような気がするな。そうだ、江戸時代にはこんな絵を描いていたよね？だから江戸時代かな？とてもにぎやかで楽しそう！でも、この絵、いったいどこの様子を描いた絵なんだろう？とてもにぎやかそうだから、やっぱり大きなまちなのかな……？



江戸時代の郡山はいったいどんな様子だったのだろうか？江戸時代の郡山の様子を調べてみよう。

江戸に幕府を開いた徳川家康は、全国の道路、つまり街道（かいどう）を整備するように命令を出しました。東海道や日光街道などの「五街道」と同時に、今の郡山市を通る街道も整備されました。どこだと思いますか？実は、旧国道4号線（今の県道須賀川本宮線）がその街道跡で、当時「松前道（俗称奥州街道）」と呼ばれていました。

この時、街道には、江戸日本橋をスタート地点として、一里（約4 km）ごとに「一里塚（いちりづか）」を建てることと、道の両側には松を植えるように決められました。みんなは上の写真の碑を見たことがありますか？これは、一里塚の碑で、「一里担（いちりだん）」という地名も残っている

ほどです。どこにあるのか探してみよう。また、松尾芭蕉が通ったことで有名な松並木が今も残っています。



▲一里担の一里塚碑



▲福原の松並木

このように、江戸時代の郡山を通った松前道（奥州街道）のなごりは今も残っているんだ。そうだ、当時の郡山には、宿屋や酒屋、呉服屋がたくさん並んでいたということだ。みんなの住んでいる近くに陣屋、蔵場という地名があったら、江戸時代との関係を調べてみよう。